



感染症週報



小笠原での流行状況

第21週（5月18日から5月24日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

第20週（5月11日～5月17日）

【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

これから要注意…

【手足口病】

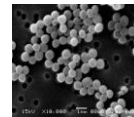
主に夏に流行するウイルス性の感染症で、名前の表すとおり口の中や手のひら、足の裏などに小さな水ぶくれができるのが特徴です。

原因となるウイルスがいくつかあるため、何度でもかかる可能性があります。

飛沫や接触で感染します。「流水と石けんでのこまめな手洗い」と「タオルの共有を避けること」が有効な予防策です。



黄色ブドウ球菌による食中毒にご用心



出典：食品安全委員会(内閣府)

この細菌は、食中毒の原因となるだけでなく、おでき・にきびや、水虫、蜂窩織炎等に存在する化膿性疾患の代表的細菌です。人の皮膚の上で増殖した場合は毒素は作りませんが、高栄養の食べ物に付着して、食べ物の中で増殖するときにエンテロトキシンという毒素を作ります。食品と共に食べると約3時間後に激しい嘔気・嘔吐、腹痛、下痢を伴う急激な急性胃腸炎症状を起こします。菌自体は熱に弱いですが、この毒素は100℃20分の加熱でも分解されません。

【予防のポイント】

- 手指に手荒れや傷がある場合は、手袋を着用し、直接食品に触らない。手荒れ予防のための保湿や治療をする。
- 手洗い及び器具等の洗浄・消毒・乾燥を徹底する。
- 食材の室温放置は避け、10℃以下で保存し、調理したものはなるべく早く食べる。
- 調理中に顔や髪に触らないよう、マスク、帽子等を着用する。



感染症メモ

最近ニュースになっていた「エボラ出血熱」って??



世界保健機関（WHO）は17日、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に当たると宣言しました。主にコンゴ民主共和国などアフリカ中央部で発生し、1976年以降これまでに30回を超える流行が報告されています。出血症状は、以前考えられていたよりもまれなため、最近ではエボラ出血熱ではなく、エボラウイルス病(EVD)と言われます。患者さんの血液や体液に直接触れることで感染する病気です。



習慣にしよう!

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所